

岡山県の認知症施策について

岡山県の認知症施策の体系

1 普及啓発・本人発信支援

- (1) 認知症サポーター等の養成
 - ・認知症サポーター及びキャラバン・メイトの養成
- (2) 認知症に関する理解促進
 - ・世界アルツハイマーデー及び月間などの機会を捉えた普及啓発
- (3) 認知症の人本人からの発信支援
 - ・本人ミーティングの普及等の推進

2 予防

- ・通いの場の整備等を推進する市町村の取組支援

3 医療・ケア・介護サービス

- (1) 早期診断・早期対応を行う医療機関の整備
 - ・認知症疾患医療センターの設置
- (2) 認知症サポート医の養成
 - ・認知症サポート医の養成及びフォローアップ研修の実施
- (3) 医師等の認知症対応力の向上
 - ・医療従事者（かかりつけ医、看護職員、歯科医師、薬剤師等）を対象とした認知症対応力向上研修の実施
- (4) 認知症ケアに携わる介護人材の育成
 - ・介護従事者を対象とした認知症対応力向上研修等の実施

4 地域で支える体制の整備

- (1) 認知症の人とその家族への支援
 - ・「おかやま認知症コールセンター」の設置運営
 - ・介護家族等の交流会の実施
- (2) 若年性認知症の人への支援
 - ・「おかやま若年性認知症支援センター」の設置運営
 - ・就労・社会参加のネットワーク構築及び関係機関との広域的な連携強化
- (3) 市町村の取組の支援
 - ・認知症初期集中支援チームや認知症地域支援推進員の好事例収集・発信
 - ・認知症の人やその家族のニーズと支援者をつなぐ「チームオレンジ」整備の支援
- (4) 成年後見制度の利用促進
 - ・成年後見制度を利用できる体制整備ができるよう普及啓発
 - ・市民後見人の養成及びフォローアップ研修の実施
- (5) 行方不明の認知症高齢者への対応
 - ・市町村内や県内外における広域見守りネットワークづくりの推進

※下線は、第8期計画から記載したもの

1 普及啓発・本人発信支援

<R4 年度当初要求額 10,308 千円>

(1) 認知症サポーター等の養成

市町村における認知症サポーターの養成を支援するため、認知症サポーター養成講座で講師を務めるキャラバン・メイトを養成する。

また、市町村と協働して、認知症について正しく理解し、認知症の人やその家族を温かく見守る応援者（認知症サポーター）を養成する講座を開催する。

【岡山県全体の養成数（各年度末時点の累計養成数）】

種別	H30 年度	R1 年度	R2 年度	R3 年度
キャラバン・メイト数	2,868人	3,025人	3,071人	3,097人
認知症サポーター数	175,026人	193,916人	202,619人	206,069人

※R3 年度は 9 月末までの実績

※キャラバン・メイト養成研修…年 1 回開催、15 人修了（令和 3 年度実績）

(2) 認知症に関する理解促進

ア VR システムによる認知症の普及啓発

VR（仮想現実）機材を活用し、座学だけではなかなか実感がわかない認知症の中核症状等を疑似体験することを通じて、認知症に対する正しい理解を深め、認知症の方や介護家族等への適切な対応方法をグループワークで考える出前研修会を実施する。

1) 主な研修対象者

医療・介護サービス施設等の管理者、介護家族、市町村及び地域包括支援センター職員等

2) 研修受講者数

年度	R1 年度	R2 年度	R3 年度
研修受講者数	736人	中止	152人

※R3 年度は 12 月末までの実績

(3) 認知症の人本人からの発信支援

ア 本人ミーティングの開催

県下の認知症当事者が集い、当事者同士が主となって、自らの体験や希望、必要としていることを語り合い、自分たちのこれからのよりよい暮らし、暮らしやすい地域のあり方を一緒に話し合う機会を設ける。

1) 委託先 認知症の人と家族の会岡山県支部

2) R3 年度実績 計 1 回実施

※12 月末までの実績

2 予防

<R4 年度当初要求額 15,341 千円>

ア 通いの場の普及促進

介護予防に有効とされる週1回以上、住民運営で体操を行う通いの場を普及促進するため、県内先進事例の横展開や住民運営のノウハウ提供、情報誌の作成を行うとともに、通いの場参加者やボランティアを対象としたフォーラムを開催し、広く県民に通いの場の魅力を発信する。さらに、市町村に対しては、専門家等を活用し、通いの場の介護予防効果測定や、地域の実情に応じた通いの場の立ち上げ支援する。

【通いの場の箇所数】

年度	R1 年度	R2 年度	R3 年度
箇所数	1,226 箇所	1,378 箇所	1,310 箇所

イ 通所付添サポート事業の実施

1) アウトリーチの実施

県庁に配置している市町村支援員や、アドバイザー派遣による、通所付添サポートの立ち上げ支援

2) 通所付添サポーターの養成

自力で通いの場等への参加が困難な高齢者の誘い出しや、付添を行う元気な世代の高齢者等を対象に、安心して活動するために必要な基本的知識・技術を学ぶ講習を開催

3) 介護予防先導モデルへの補助

市町村が実施する住民互助による通所付添活動の立ち上げ支援に要する経費を補助（補助率 10/10 上限 50 万円）

【通所付添サポート事業の実施市町村及び通所付添サポーター養成者数】

年度	H29 年度	H30 年度	R1 年度	R2 年度	R3 年度
市町村名	吉備中央町	備前市 矢掛町 奈義町	赤磐市 早島町 里庄町 新庄村 西粟倉村	高梁市	笠岡市
養成者数	42 人	65 人	167 人	70 人	48 人

R4. 1. 25 現在
11 市町村
392 人養成

3 医療・ケア・介護サービス

<R4 年度当初要求額 43,754 千円>

(1) 早期診断・早期対応を行う医療機関の整備

ア 岡山県認知症疾患医療センターの設置

地域において認知症に対して進行予防から地域生活の維持まで必要な医療を提供できる機能体制の構築を図るため、認知症に係る地域連携の拠点となる認知症疾患医療センターとして、8病院を指定している。

1) 指定状況

※人口はR2.10.1現在の「毎月流動人口」

二次保健医療圏	65歳以上人口(人)	高齢化率	病院名(所在地)	指定期間
県南東部	258,417	28.7%	岡山大学病院(岡山市北区)	R3.4.1~R6.3.31 (H24.3.28)
			慈圭病院(岡山市南区)	R3.4.1~R6.3.31 (H24.3.28)
			岡山赤十字病院(岡山市北区) ※岡山市が指定	—
県南西部	204,482	30.2%	川崎医科大学附属病院(倉敷市)	R3.4.1~R6.3.31 (H24.3.28)
			倉敷平成病院(倉敷市)	R3.4.1~R6.3.31 (H24.3.28)
			きのこエスポール病院(笠岡市)	R3.4.1~R6.3.31 (H27.8.1)
高梁・新見	23,573	41.8%	こころの医療たいようの丘 ホスピタル(高梁市)	R3.4.1~R6.3.31 (H25.10.22)
真庭	17,422	40.3%	向陽台病院(真庭市)	R2.4.1~R5.3.31 (H29.8.1)
津山・英田	59,598	34.7%	積善病院(津山市)	R2.4.1~R5.3.31 (H26.11.19)
合計	563,492	30.5%		

2) 指定病院の役割

① 専門的医療機能

- ア 鑑別診断とそれに基づく初期対応
- イ 認知症の行動・心理症状と身体合併症への急性期対応
- ウ 専門医療相談

② 地域連携拠点機能

- ア 認知症疾患医療センター地域連携会議の設置及び運営
- イ 研修会の開催

③ 診断後等支援機能

- ア 診断後等の認知症の人や家族に対する相談支援
- イ 当事者等によるピア活動や交流会の開催

④ 事業の着実な実施に向けた取組の推進

※センター間の連携体制の確立や医療・介護・福祉間の連携推進などについて検討する認知症疾患医療センター連絡会議を毎年開催している。

(2) 認知症サポート医の養成

ア 認知症サポート医の養成

認知症の人の診療に習熟し、かかりつけ医に対する助言等の支援を行い、専門医療機関や市町村地域包括支援センター等との連携の推進役となる認知症サポート医を養成する。

1) 委託先

- ①受講者選定・派遣 岡山県医師会
- ②研修実施主体 国立長寿医療研究センター

2) 養成者数（自費参加者を含む）

研修名	H30 年度	R1 年度	R2 年度	R3 年度
認知症サポート医養成研修修了者数	31人	21人	中止	18人

※R3年度は12月末までの実績

イ 認知症サポート医フォローアップ研修

認知症サポート医等に対し、認知症の診断・治療・ケア等に関する研修、症例検討等を通じて、地域における認知症の人への支援体制の充実や、地域における認知症サポート医の連携・強化を図るための研修を実施する。

1) 委託先 岡山県医師会

2) 修了者数

研修名	区分	H30 年度	R1 年度	R2 年度	R3 年度
認知症サポート医 フォローアップ研修	開催回数	2回	2回	1回	1回
	修了者数	62人	75人	42人	56人

(3) 医師等の認知症対応力の向上

ア かかりつけ医認知症対応力向上研修

高齢者が日頃から受診する診療所等の主治医（かかりつけ医）に対し、適切な認知症診療の知識・技術や認知症の人本人とその家族を支える知識と方法を身に付けるための研修を実施する。

1) 委託先 岡山県医師会

2) 修了者数

研修名	区分	H30 年度	R1 年度	R2 年度	R3 年度
かかりつけ医 認知症対応力向上研修	開催回数	2回	1回	中止	中止
	修了者数	54人	29人	—	—

イ 病院勤務の医療従事者向け認知症対応力向上研修

病院に勤務する医師、看護師等の医療従事者に対し、認知症の人や家族を支えるために必要な基本知識や、医療と介護の連携の重要性、認知症ケアの原則等の知識を身に付けるための研修を実施する。

- 1) 委託先 岡山県医師会
- 2) 修了者数

研修名	区分	H30 年度	R1 年度	R2 年度	R3 年度
病院勤務の医療従事者向け 認知症対応力向上研修	開催回数	4 回	4 回	3 回	中止
	修了者数	260 人	328 人	124 人	—

ウ 歯科医師認知症対応力向上研修

高齢者が受診する歯科医師に対し、認知症の人本人と家族を支えるために必要な基本知識や、医療と介護の連携の重要性等を身に付けるための研修を実施する。

- 1) 委託先 岡山県歯科医師会
- 2) 修了者数

研修名	区分	H30 年度	R1 年度	R2 年度	R3 年度
歯科医師 認知症対応力向上研修	開催回数	1 回	1 回	1 回	—
	修了者数	78 人	139 人	179 人	—

※R3 年度は 1/19 開催予定

エ 薬剤師認知症対応力向上研修

高齢者が受診した際や受診後等に接する薬局・薬剤師に対し、認知症の人本人とその家族を支えるために必要な基本知識や、医療と介護の連携の重要性等を身に付けるための研修を実施する。

- 1) 委託先 岡山県薬剤師会
- 2) 修了者数

研修名	区分	H30 年度	R1 年度	R2 年度	R3 年度
薬剤師 認知症対応力向上研修	開催回数	2 回	2 回	2 回	1 回
	修了者数	205 人	324 人	140 人	374 人

※R3 年度は 12 月末までの実績

オ 看護職員認知症対応力向上研修

認知症の人と接する機会が多い看護職員に対し、入院から退院までのプロセスに沿った必要な基本知識や、個々の認知症の特徴等に対する実践的な対応力を身に付けるための研修を実施する。

- 1) 委託先 岡山県看護協会
- 2) 修了者数

研修名	区分	H30 年度	R1 年度	R2 年度	R3 年度
看護職員 認知症対応力向上研修	開催回数	1 回	2 回	2 回	—
	修了者数	94 人	142 人	50 人	—

※R3 年度は 1/31 修了予定

(4) 認知症ケアに携わる介護人材の育成

ア 認知症介護基礎研修

新任の介護職員等に対し、認知症介護に関する基礎的な知識及び技術を身に付けるための研修を実施する。

- 1) 委託先 岡山県社会福祉協議会
- 2) 定員 300 人 (集合 70 人×2 回、e ラーニング 160 人)
- 3) 修了者数

研修名	区分	H30 年度	R1 年度	R2 年度	R3 年度
認知症介護基礎研修	開催回数	3 回	3 回	3 回	—
	修了者数	225 人	150 人	85 人	289 人

※R3 年度は 12 月末までの実績

イ 認知症介護実践研修

高齢者介護実務者に対し、認知症介護に関する実践的な知識及び技術を身に付けるための研修を実施する。

- 1) 実施方法 県が指定する法人が実施
 - ①実践者研修 … 岡山県社会福祉協議会、岡山市ふれあい公社
岡山県老人保健施設協会
 - ②リーダー研修 … 岡山県老人保健施設協会、岡山市ふれあい公社
【休止中】新生寿会

2) 修了者数

研修名	区分	H30 年度	R1 年度	R2 年度	R3 年度
認知症介護実践者研修	開催回数	9 回	7 回	6 回	4 回
	修了者数	520 人	357 人	258 人	99 人
認知症介護 実践リーダー研修	開催回数	2 回	2 回	1 回	—
	修了者数	83 人	59 人	34 人	—

※R2 年度修了者数には、R1 年度からの延期分を含む

※R3 年度は 12 月末までの実績

ウ 認知症対応型サービス事業管理者等養成研修

認知症高齢者グループホームの管理者や開設者、小規模多機能型居宅介護事業所の計画作成担当者等に対して、認知症介護の質の向上を図るための研修を実施する。

- 1) 委託先 岡山県社会福祉協議会
- 2) 定員 ①開設者研修 20人×1回
 ②管理者研修 45人×3回
 ③計画作成担当者研修 40人×1回
- 3) 修了者数

研修名	開催回数	H30 年度	R1 年度	R2 年度	R3 年度
認知症対応型サービス事業 開設者研修修了者数	年1回	11人	9人	1人	11人
認知症対応型サービス事業 管理者研修修了者数	年3回	115人	107人	66人	40人
小規模多機能型サービス等 計画作成担当者研修修了者数	年1回	34人	28人	26人	28人

※管理者研修の R3 年度は 12 月末までの実績

エ 認知症介護指導者養成研修

認知症介護に関する専門的な知識・技術を有し、認知症介護研修を企画・立案し、講義、演習、実習を担当することができ、また、介護保険施設・事業者等における介護の質の改善について指導できる認知症介護指導者を養成する。また、そのフォローアップ研修を実施する。

研修名	H30 年度	R1 年度	R2 年度	R3 年度
認知症介護指導者養成研修修了者数	1人	0人	0人	0人
認知症介護指導者 フォローアップ研修修了者数	2人	2人	2人	1人

4 地域で支える体制の整備

<R4 年度当初要求額 41,760 千円>

(1) 認知症の人とその家族への支援

ア 認知症コールセンターの運営

認知症の人やその家族が悩みやストレスを抱え込んでしまうことがないように、岡山市と共同で社会福祉士や介護支援専門員等の専門職が対応する「おかやま認知症コールセンター」を設置している。

- 1) 電話番号等 086-801-4165 (晴れて一番 よい老後)
月曜日～金曜日 10:00～16:00
- 2) 委託先 認知症の人と家族の会岡山県支部
- 3) 相談件数

年度	H30 年度	R1 年度	R2 年度	R3 年度
相談件数	525件	407件	516件	415件

※R3 年度は 12 月末までの実績

イ 認知症高齢者・家族交流会の開催

認知症サポート医等の認知症理解についての講演、介護の体験談の発表、グループワーク等を通じて、介護経験者と介護に不安を持つ介護家族及び認知症高齢者本人等の交流会を実施する。

- 1) 委託先 認知症の人と家族の会岡山県支部
- 2) R3 年度実績 備中県民局管内 1 回実施予定

(2) 若年性認知症の人への支援

ア おかやま若年性認知症支援センター

若年性認知症の人とその家族等を対象とした電話相談窓口として「おかやま若年性認知症支援センター」を平成 28 年 10 月 17 日に開設した。

1) 運営者

認知症の人と家族の会岡山県支部に委託して実施

若年性認知症支援コーディネーターを 3 名配置して対応

※若年性認知症支援コーディネーターは、新オレンジプランにおいて、各都道府県に配置することとされている若年性認知症の人の自立支援に係わる関係者ネットワークの調整役

2) 主な業務

(ア) 電話相談

- ①電話番号 086-436-7830
- ②相談日・時間 月曜日から金曜日の 10 時から 16 時
※祝祭日、8/13～15、12/29～1/3 を除く。

③相談体制等

保健師、社会福祉士、臨床心理士等の専門職が相談員として電話相談に対応し、必要に応じて適宜面談等を実施する。

- ④相談内容 受診、治療、就労、社会参加、介護サービス等

(イ) 個別ケア会議

(ウ) 医療、介護、福祉、就労等の総合的な支援に向けた関係団体等によるネットワーク会議の開催

(エ) 市町村職員、医療関係者等への研修会開催など普及・啓発活動

3) 活動報告

(ア) 電話相談集計報告

年度	H30 年度	R1 年度	R2 年度	R3 年度
相談日数	140日	237日	241日	182日
相談件数	32件(延)	27件(延)	223件(延)	164件(延)

※R3年度は12月末までの実績

(イ) 研修会

平成29年度：2回開催（若年性認知症理解・対応研修会と個別相談会を同時開催）

平成30年度～：若年性認知症理解・対応ミニ研修会として開催

イ 若年性認知症の人と家族の集い

平成27年度から認知症の人と家族の会岡山県支部が実施していた集いを平成28年度から県の委託事業として実施している（年6回程度開催）。

<令和3年度実績>

若年性認知症の人と家族のつどい（ひまわりの会）

①日	時：令和3年8月7日（土）13:00～15:00 場 所：総社市清音福祉センター 内 容：本人交流会：座談会 家族交流会：座談会
②日	時：令和3年10月9日（土）13:00～15:00 場 所：くらしき健康福祉プラザ 内 容：本人交流会：座談会 家族交流会：座談会
③日	時：令和3年12月18日（土）13:00～15:00 場 所：総社市清音福祉センター 内 容：本人・家族交流会：バルーンアート
④日	時：令和4年2月26日（土）13:00～15:00 場 所：くらしき健康福祉プラザ 内 容：未定

(3) 市町村の取組の支援

ア 認知症初期集中支援チーム員研修事業

認知症初期集中支援チームのチーム員等がその活動に必要な知識・技能を身に付けるため、国立長寿医療研究センターが実施する研修の受講を支援することにより、各市町村における支援チームの配置を推進するとともに、支援チームの質の確保・向上を図る。

研修名	H30 年度	R1 年度	R2 年度	R3 年度
認知症初期集中支援チーム員研修 修了者数	37人	38人	5人	15人

イ 認知症地域支援推進員研修事業

認知症地域支援推進員等がその活動に必要な知識・技術を身に付けるため、認知症介護研究・研修東京センターが実施する研修の受講を支援することにより、各市町村における推進員の配置を推進するとともに、推進員の質の確保・向上を図る。

研修名	H30 年度	R1 年度	R2 年度	R3 年度
認知症地域支援推進員研修修了者数	36人	51人	中止	52人

※R3年度は12月末までの実績

ウ チームオレンジ研修事業

認知症の人やその家族のニーズと認知症サポーターを中心とした支援者をつなぐ仕組みとして、チームオレンジの整備に取り組む市町村を支援するため、市町村職員やコーディネーター等に対し、活動に必要な知識や技術を伝達するとともに、先進自治体の取組事例を紹介することにより、活動の推進を図る。

研修名	R2 年度	R3 年度
チームオレンジ研修受講者	102人	98人

エ 認知症ケアに係る医療連携体制整備事業

認知症ケアパスや認知症地域連携パス等の作成やその運用体制の構築に係る経費、認知症ケアパス等を周知・普及させるための研修会の実施に係る経費を補助する。

- 1) 実施主体 市町村、郡市等医師会、認知症疾患医療センター
- 2) 令和3年度実施団体 4団体（矢掛町、鏡野町、児島医師会、新見医師会）

オ 市町村認知症事業連絡会の開催

認知症の人やその家族を地域で支える体制づくりを推進するため、県内市町村の取組事例の伝達や意見交換など、市町村や地域包括支援センターの職員等を対象とした研修会を開催する。

- 1) 対象 市町村や地域包括支援センターの職員等
- 2) 開催回数 各県民局 年1回（計3回）
- 3) 内容 市町村の前年度活動実践報告及び参加市町村間での意見交換

カ 岡山県認知症対策連携会議の設置

行政と医療・介護・福祉等の関係者が連携し、県内における総合的な認知症対策を円滑に推進するための検討を行う組織として設置する。

(4) 成年後見制度の利用促進

認知症高齢者の増加などにより、成年後見制度の利用が必要となる人の大幅な増加が見込まれる中、安心して当該制度を利用できるようにするための対策が必要となっていることから、平成28年5月に成年後見制度の利用の促進に関する法律が施行された。

全国どの地域に住んでいても成年後見制度の利用が必要な人が制度を利用できるよう、国、県、市町村が連携を図りながら、成年後見制度の利用の促進に関する施策を進めることとしている。

ア 市町村の役割

1) 成年後見制度利用促進基本計画（市町村計画）の策定

- ・成年後見制度の利用の促進に関する施策についての基本的な計画であり、国の基本計画を勘案し策定

2) 地域連携ネットワークの整備

- ・保健、医療、福祉及び司法も含めた連携の構築
- ・広報機能、相談機能、成年後見制度利用促進機能、後見人支援機能の4つの機能を確保

3) 中核機関の設置

- ・地域連携ネットワークの円滑な運営を担う中核的な機関

イ 県の役割

1) 市町村の区域を越えた広域的な見地から、後見人となる人材の育成

- ・市民後見人養成講座の実施

2) 県全体の施策の推進や国との連携確保

- ・県下の地域連携ネットワーク、中核機関の整備・取組状況の把握
- ・広域での中核機関の設置・運営について市町村との調整

ウ 国の役割

1) 成年後見制度利用促進基本計画（国計画）の策定（H29.3.24閣議決定）

- ・成年後見制度利用促進策の最も基本的な計画

2) 県・市町村からの相談対応

3) 全国の取組状況の把握

- ・地域における取組状況の格差について継続的な確認、必要な支援策の検討

(5) 行方不明の認知症高齢者への対応

ア 広域ネットワークの運営

徘徊等により行方不明となった認知症高齢者の早期発見・保護等を行うため、市町村で運営されている徘徊・見守りネットワーク等の効率的な連携を図るために運営。

※ネットワークの利用状況（R2.6.1～R3.5.31）

- ・行方不明発生通報件数 54件
- ・うち広域ネットワークへの検索依頼件数 5件

イ 協力事業者の登録

認知症高齢者の行方不明時の検索等に協力してもらえる県内の広域交通関係事業者等を登録し、市町村に提供。

※協力事業所 27事業所（R3.3.31現在）

第7期岡山県高齢者保健福祉計画・介護保険事業支援計画に係る目標の達成状況

項 目	岡山県		
	実 績 (H28年度末)	実 績 (R2年度末)	目 標 (R2年度末)
1 認知症の人への医療・介護サービスの提供体制の整備			
認知症疾患医療センターの数	8カ所 (真庭圏域 未設置)	9カ所 (全ての2次 保健医療圏 に設置)	2次保健 医療圏ごとに 1カ所以上
認知症サポート医養成研修の受講者数(累計)	130人	234人	166人
かかりつけ医認知症対応力向上研修の受講者数(累計)	1567人	1,831人	1,940人
病院勤務の医療従事者に対する認知症対応力向上研修の受講者数(累計)	841人	2,076人	2,900人
看護職員認知症対応力向上研修の受講者数(累計)	65人	479人	150人
歯科医師認知症対応力向上研修の受講者数(累計)	82人	599人	340人
薬剤師認知症対応力向上研修の受講者数(累計)	201人	1,073人	550人
認知症介護実践者研修の受講者数(累計)	8,145人	9,861人	9,900人
認知症介護実践リーダー研修の受講者数(累計)	989人	1,263人	1,200人
認知症介護指導者養成研修の受講者数(累計)	44人	47人	52人
2 認知症の人とその家族を地域で支える体制の整備			
認知症サポーターの人数(累計)	136,336人	202,619人	180,000人
認知症カフェ等の設置市町村数	18市町村	23市町村	全市町村

第8期岡山県高齢者保健福祉計画・介護保険事業支援計画に係る目標

項目	岡山県	
	実績 (R2年度末)	目標 (R5年度末)
1 普及啓発・本人発信支援		
認知症サポーター養成講座受講者数(累計)	202,619人	240,000人
2 医療・ケア・介護サービス・介護者への支援		
認知症サポート医の数	234人	313人
かかりつけ医認知症対応力向上研修修了者数(累計)	1,831人	2,080人
病院勤務の医療従事者向け認知症対応力向上研修修了者数(累計)	2,076人	2,680人
看護職員認知症対応力向上研修修了者数(累計)	479人	620人
歯科医師認知症対応力向上研修修了者数(累計)	599人	780人
薬剤師認知症対応力向上研修修了者数(累計)	1,073人	1,730人
認知症介護実践研修(実践者研修)修了者数	9,861人	10,800人
認知症介護実践研修(実践リーダー研修)修了者数	1,263人	1,420人
認知症介護指導者養成研修修了者数	47人	50人
3 地域で支える体制の整備		
<u>チームオレンジ設置市町村数</u>	<u>0市町村</u>	<u>10市町村</u>

※下線は、第8期計画から記載したもの

市町村別認知症施策の取組状況について

圏域	市町村	高齢化率	疾患医療センター (箇所)	サポート医 (人)	かかりつけ医研修修了者 (人)	初期集中支援チーム (チーム数)	地域支援推進員 (人)	認知症ケアパス	認知症カフェ (箇所)	チームオレンジ (箇所)	SOSネットワーク
県南東部	岡山市	26.4%	3	88	824	1	9	○	37		○
	玉野市	38.8%		5	33	1	7	○	2		
	備前市	39.7%		6	16	1	5	○	5		○
	瀬戸内市	34.9%		5	21	1	6	○	2		○
	赤磐市	34.0%		5	20	1	1	○	1		○
	和気町	41.6%		3	10	1	3	○	2		○
	吉備中央町	42.5%		1	12	1	3	○	4		○
計	28.7%	3	113	936	7	34	7	53	0	6	
県南西部	倉敷市	28.4%	2	47	435	3	3	○	23	1	○
	笠岡市	37.5%	1	4	11		9	○	5		○
	井原市	37.4%		1	14	1	5	○	3		○
	総社市	28.7%		6	31	1	1	○	12	1	○
	浅口市	36.8%		6	19	1	3	○	5		○
	早島町	27.7%		4	7	1	3	○	2		○
	里庄町	31.3%		3	4	1	3	○	1		○
	矢掛町	39.1%		5	11	1	2	○	1		○
計	30.2%	3	76	532	9	29	8	52	2	8	
高梁・新見	高梁市	41.6%	1	4	30	1	5	○	8		○
	新見市	42.0%		3	16	3	1	○	3		○
	計	41.8%	1	7	46	4	6	2	11	0	2
真庭	真庭市	40.3%	1	7	54	1	2	○	6		○
	新庄村	43.3%			1						○
	計	40.3%	1	7	55	1	2	1	6	0	2
津山・英田	津山市	31.2%	1	7	179	1	3	○	4		○
	美作市	41.8%		3	35	1	1	○	3		○
	鏡野町	39.2%		2	15	1	3		3		○
	勝央町	31.5%		1	16	1	1				○
	奈義町	35.6%		1	8	1	3		1		○
	西粟倉村	36.3%		1		1	1				○
	久米南町	45.3%			1	1	5	○	1		○
	美咲町	41.7%		1	6	1	3	○	1		○
計	34.7%	1	16	260	8	20	4	13	0	8	
合計	30.5%	9	219	1,831	29	91	22	135	2	26	

※高齢化率はR2. 10. 1時点、初期集中支援チーム・地域支援推進員はR3. 4. 1時点、認知症ケアパスはR3. 12. 1時点、認知症カフェはR3. 7. 1時点、チームオレンジ設置はR3. 10. 31時点、SOSネットワークはR3. 5. 31時点、それ以外はR3. 6. 30時点